

令和5年度 串間市立市木小学校「学校関係者評価書」

評価の基準	「4」期待以上	「3」ほぼ期待通り	「2」やや期待を下回る	「1」改善を要する
	～85%	84%～70%	69%～40%	40%～

学校の教育目標	自信に満ち 豊かな心をもって たくましく生きる子どもの育成
---------	-------------------------------

本年度の重点目標	○ 生きる力を育む確かな学力の育成 【知: 共に学び伝え合う喜び】
----------	-----------------------------------

評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自校評価	外部評定	学校関係者評価委員コメント	
生きる力を育む確かな学力の育成	■分かりやすい授業づくり						
	・授業に向かう態度 肯定的回答 児童 92% 保護者 95% 教師 100% 平均 96%	1 概ね「4」の評価 ○ 児童・保護者・教師の全てにおいてほぼ9割以上が肯定的な回答を行っていた。ICT機器を活用するなど授業者が子どもの実態に応じて興味・関心を高める授業を工夫している成果である。				○ 話し上手は聞き上手とよく言われている。児童や保護者は肯定的に思っているが、教師からするとまだまだとの評価。高学年・低学年とのバラツキはあるものの、興味関心のある授業や面白い話題などで児童たちが楽しめるような雰囲気に導いていただきたい。 ○ 参観日等で授業を拝見しても、教師の授業内容を深める手段として、ICT機器を使ったり、補助的なカードや道具を使ったりして意識を深めるように努力をしていた。児童も積極的に授業を受け、発表していた。 ○ 授業力向上のための研究や努力のおかげで、授業に向かう態度も良く、理解力アップにつながっている。 ○ タブレットPCの活用により、更に学習面が深掘りされていると感じる。今後も児童の理解度に応じた支援に取り組んでほしい。 ○ 指導している内容について理解度の認識が教師と児童・保護者とで違っている。話の内容を児童が理解していないのであれば、教師としては伝える力のスキルを上げる努力をすべきである。	
	・授業内容の理解 肯定的回答 児童 89% 保護者 93% 教師 83% 平均 88%	2 概ね「4」の評価 ○ 学校全体の取組として、一人一台端末を効果的に活用した授業の在り方を研究してきた。お互いに授業を参観し、意見を交換するなど授業力向上に努めてきた。また、学力調査結果の分析を行い、課題である条件付きの文章について、授業や授業外のスキルの時間を使って書かせるようにしている。					
	■基本的な学習態度や望ましい学習習慣の形成						
	・聞く姿勢や態度 肯定的回答 児童 89% 保護者 93% 教師 33% 平均 72%	3 概ね「3」の評価 ○ 最後までしっかりと話を聞いていることについて、児童や保護者は肯定的な回答が多いが、教師の評価はかなり低い。話をしっかりと聞くことは、全ての教育活動において指導を行っているが、今後更に指導の徹底を図っていく。				○ 聞く姿勢や態度で保護者と教師の回答の差があるのは、家庭の中での会話も少なくなってきた、気付かないケースもあるのではないか。（ゲームやテレビ視聴の影響も考えられる。） ○ 考えを伝える力を向上させるために作文の取組はとてもいいことだと思います。表現力を身に付けるためには、たくさんの本を読み視野を広げてほしい。 ○ 児童が日記や作文を書くことにより、書くため情報や手法を考える。そのために本を読んだり新聞に目を通したりすることにより、読書や家庭学習につながっていくと思っている。以前は時より新聞投稿もされていた時期がある。掲載されると嬉しいもの。ぜひ取り入れていただきたい。	
	・考え方伝える力 肯定的回答 児童 89% 保護者 82% 教師 67% 平均 79%	4 概ね「3」の評価 ○ 教師の評価について80%を下回っているが、中高学年では、考えさせる段階において、レーダーチャートやベン図など思考ツールを活用しながら可視化できるようにしている。児童が、考え方を正確に伝えるためには、文章表現力も必要なため、作文をさせるといった取組を今後も継続して行っていく。	3	3		○ 漢字力や計算力は個人差を考慮しながら、コンテスト等で意欲付けを行い、力を付けていってほしい。 ○ 「家読」はアンケート内容でも「できていない」が多かった。読書は即効性のある教養ではないが、言葉遣い、表現力、想像力、豊かな心等、見えない力が積み上げられていくものである。一冊の本に巡り合って人生が大きく変わることもある。また、基本的な文章の構成が自然に身に付くことは、算数の文章問題の理解にも関わってくる。 ○ 読書の取組として、上学年による読み聞かせは下学年にとっても、お互いにとってもいい効果があると思うので、継続してほしい。 ○ 家庭学習については、保護者の肯定感が高いのに比べて児童や教師の肯定的回答の落差が大きい項目である。保護者も忙しく、子どもと接する時間などをのくらいいれるか、何を主要と考えるか、それぞれの方針もあるだろう。ただ、基本的な学習は身に付けておくと、人生の壁を乗り越えやすいと思う。 ○ 家庭学習に対する意識の違いがあるかもしれないが、家庭学習の大切さを理解してほしい。	
	・漢字力、計算力 肯定的回答 児童 87% 保護者 73% 教師 100% 平均 87%	5 概ね「3」の評価 ○ 授業における学習内容の振り返りの充実だけではなく、業前、午後の活動として「スキル」を設定し学習内容の確実な習得を図っている。また、学期末に漢字コンテストを実施し、満点の児童は全体の場で表彰する活動を行っている。理解度については個人差が大きいので、個別の指導の充実を更に図っていく。					
	・読書の習慣（家読） 肯定的回答 児童 60% 保護者 71% 教師 50% 平均 60%	6 概ね「2」の評価 ○ 6月の第1回の学校評価アンケートでは、肯定的な回答を行った割合が46%であったが、学校で取り組んでいる「家読」や上学年が下学年に読み聞かせを行うといった活動を通して、今回が60%に上昇している。今後更なる取組の充実を図っていく。					
	・家庭学習 肯定的回答 児童 50% 保護者 85% 教師 40% 平均 58%	7 概ね「2」の評価 ○ 学校では、家庭学習の確実な見届けを行っている。また、タブレット端末を持ち帰らせて課題を行わせるなど児童の興味・関心が向くような手立てを講じている。しかし、保護者によって、家庭学習に対する意識に違いがあるため、家庭で行う習慣が身に付いていない児童がいる。今後も、児童だけでなく保護者にも啓発をしながら、家庭学習の習慣化を図りたい。					

本年度の重点目標		○ 命を大切にし、豊かな心を育む教育の推進		【 徳：生命を尊重し思いやりの喜び 】																																
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評定	学校関係者評価委員コメント																														
命を大切にし、豊かな心を育む教育の推進	■ 基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの習慣 <table> <tr><td>肯定的回答</td><td></td></tr> <tr><td>児童</td><td>84%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>92%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>67%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>81%</td></tr> </table> ・学校の生活のきまり <table> <tr><td>肯定的回答</td><td></td></tr> <tr><td>児童</td><td>87%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>100%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>100%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>96%</td></tr> </table> ・手伝いや清掃(協力) <table> <tr><td>肯定的回答</td><td></td></tr> <tr><td>児童</td><td>92%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>81%</td></tr> <tr><td>教師</td><td>89%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>87%</td></tr> </table> 	肯定的回答		児童	84%	保護者	92%	教師	67%	平均	81%	肯定的回答		児童	87%	保護者	100%	教師	100%	平均	96%	肯定的回答		児童	92%	保護者	81%	教師	89%	平均	87%	8	概ね「3」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童、保護者の評価は高い傾向であるが、教師の評価は67%と低かった。6月の青少協の会合では、地域の方からあいさつについて指摘があり、学校でも定期的にあいさつの徹底について指導を重ねている。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登校時、よくあいさつができるようと思われる。家庭内でもなぜあいさつは必要かという環境づくりも必要ではないかと思う。 ○ あいさつはお互い会ってするもので、地域の高齢化が進み、児童と会うことが少ないと、あいさつができなくなる。地域の人々も児童と出会った時に積極的にあいさつをして手本になってほしい。 ○ 気持ちのよいあいさつができると、1日のスタートも気持ちよくなると思います。社会人になっても、あいさつはとても大事です。まずは家庭で習慣が付くとよい。 ○ 集団生活でのきまり事は大切。一人一人に自分の行動について責任をもたせ、協調性を育んでいただきたい。なぜ必要なのかを理解させ、学校生活を送ってほしい。 ○ 児童一人一人がルールを守ることで、落ち着いた環境が整う。児童自身に考えさせ、自分たちでルールを決め、守るという経験は期待が高まる。ぜひお願いしたい。 ○ 児童は、ルールがはっきりしていれば、ちゃんと実行できる。それを学校だけでなく、少しずつ社会に広げていけばよい。 ○ 家庭でのお手伝いで、保護者からの働きかけによっては、自主性を育み、自尊心を高めることにつながることと思う。五感を使うことによって、脳の働きが活性化し、記憶が定着しやすい。自ら段取りを考え効率を工夫すると勉強にも応用しやすくなる。どんな小さなことでも、「助かるな」と一言添えると充実感も出て、家族内の存在感も増していく。とにかく何か一つさせる。 ○ 清掃は身の周りを奇麗にするだけでなく、整理・整頓する力も付き、学習意欲にもつながる活動なので、しっかりと取り組んでほしい。 ○ 月に一度のアンケート実施はいいことである。言葉では言えないことも、文字では言えることもあるので、これからも心の内を知る上で実施していただき、早期に解決できるようにお願いしたい。
肯定的回答																																				
児童	84%																																			
保護者	92%																																			
教師	67%																																			
平均	81%																																			
肯定的回答																																				
児童	87%																																			
保護者	100%																																			
教師	100%																																			
平均	96%																																			
肯定的回答																																				
児童	92%																																			
保護者	81%																																			
教師	89%																																			
平均	87%																																			
9	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初、全児童に「市木っ子よい子の一日」を配付し、学校生活を送る上できまりを確認するとともに、常時指導を図った。今後はきまりについて児童自身に考えさせる場面を設けながら、自分たちで決めたルールを自分たちでしっかりと守るように指導していきたい。 																																			
10	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での手伝いや清掃に関しては、保護者の評価は81%であり、家庭での手伝いも行っているようである。清掃については、月・水・金に「だ・い・す・き」の合言葉のもと、しっかりと取り組んでいる。また、金曜日の清掃終了後は反省会を実施し、よかつたところや課題について児童自身に反省させるようにしている。今後も進んで手伝いや清掃に取り組んでいくようにする。 																																			
11	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校では、月に一度に心のアンケートの実施及び、定期的な教育相談を実施している。友達同士のトラブルはあったが、速やかな教師の指導・組織的な対応を行なながらトラブルの解決を図ってきた。今後は、学級活動において、ソーシャルスキルの授業を行い、具体的に役割演技を行なながら、思いやりのある行動について児童に学ばせていく。 																																			
12	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者、教師の肯定的な評価が85%を超えており、児童の肯定的回答は、若干低かった。今後、道徳や学級活動の授業において自分のよさを発見させる時間を確保し、児童一人一人が自己肯定感を高められるような授業実践の充実を図っていく。 																																			
13	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において協働的な学習を図りながらお互いの意見をしっかりと聞く・話す活動の充実を図ったり、清掃や学校行事での縦割りでの班活動の充実を図ったりすることによって、困っている友達や下学年に対して、優しく接する姿が見られている。 																																			
14	概ね「3」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校においては、教師が定期的に机や棚の中身をチェックしながら整理整頓の指導を行っている。一方、3分の1の家庭では、整理整頓ができないという状況である。大人が子どもの分を片付けるのではなく、子ども自身に片付けさせ見届ける意識をもたせることが必要である。 																																			

本年度の重点目標		○ 健やかな体の育成と安全教育の充実 【 体：健康・安全で共に伸びる喜び 】				
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評定	学校関係者評価委員コメント
健やかな体の育成と安全教育の充実	■基礎体力の向上 ・外遊びと運動 肯定的回答 児童 87% 保護者 89% 教師 100% 平均 92%	15	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の授業に対しての関心・意欲がとても高く、昼休みも、サッカーをしたり鬼遊びをしたりしながら元気に外遊びをしている様子が伺える。また、休日、も少年団や地域の体育的活動に参加している児童がいる。しかし、中には、休日は家でゲームをして過ごす児童もいるようである。今後も、運動の楽しさや大切さについて、随時指導を行っていくようとする。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外遊びは多くの児童が好きで、サッカーを多目的広場でしている様子も見られる。体を動かしていると動作が予測でき、危機管理が可能になる。 ○ 昼休み時間、サッカーをして体を動かし、仲良く遊んでいる姿をよく見かける。運動を通して、人との関わり方を学ぶことも学びの一つなので、苦手意識のある児童も一緒に中に入れるようになってほしい。 ○ コロナ禍で制限されることが多い中、学校で工夫して指導されたおかげで、運動会・持久走大会・外遊びなど体力向上に繋がる指導をしていただいた。運動の楽しさや達成感を味わう、たくましい心と体の育成に今後も取り組んでほしい。 ○ 朝ごはんを食べていない児童がいるようで大変危惧している。子どもには「楽しんで食べる」、「食べることの楽しさ」を感じられるように、家庭とも連携を図りながら食育指導にも力を注いでもらいたい。 ○ 朝の登校時に集合場所に集まらない時もある。欠席なのか分からないので、時間を決めて出発するようにしている。中には、パンを食べながら来る児童もいるので、早起きができなかつたのだなと思う時がある。 ○ 生活リズムを整える環境づくりは保護者の影響が大きいので、まずは、子供にとって何が大事か「子ども優先」の考えで過ごしてほしい。 ○ ヘルメット着用率が高い事はうれしい事である。自分の身体を守るアイテムなので続けてもらいたい。事件・事故・災害は予期できないので、どのように対応するか、判断するか、行動するかを各自身に付けていると命が守られる。私も見習いたい。 ○ 安全に過ごすための知識は命に関わるので、しっかりと身に付け、児童自ら命を守る行動がとれるよう願っている。
	■健康な生活習慣の確立 ・望ましい生活習慣(リズム)の形成 肯定的回答 児童 89% 保護者 90% 教師 50% 平均 76%	16	概ね「3」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・保護者における「早寝・早起き・朝ごはん」の回答は80%を超えており、中には朝ごはんを食べていない児童もいるようである。また、朝の登校が間に合わない児童の様子が見られ、保護者の生活リズムも影響している様子が見られる。学校では、児童に対して保健や学級活動だけでなく常時指導においても、生活習慣の確立について指導している。保護者には保健便りを通して啓発を行っている。 			
	■安全教育の推進 ・安全意識 肯定的回答 児童 95% 保護者 95% 教師 89% 平均 94%	17	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車に乗る際のヘルメット着用について、保護者も一体となって取り組んだことで、着用率がとても高い。今後も指導を徹底していく。 地震・津波など避難訓練を抜き打ちで実施したり、駐在所や市の消防署、保育園とも連携した避難訓練を実施したりしたことでの、子どもたちが真剣に、そして積極的に訓練に参加する様子が見られている。今後も計画的・継続的に危機回避能力の育成に取り組んでいきたい。 			

本年度の重点目標 ○ 地域に開かれ信頼される学校の実現 【連：人の役に立ち繋がり合う喜び】						
評価項目	評価指標	設問番号	学校の自己評価コメント	自己評価	外部評定	学校関係者評価委員コメント
地域に開かれ信頼される学校の実現	■家庭・地域社会との連携 ・学校と家庭との連絡 肯定的回答 児童 84% 保護者 89% 教師 60% 平均 78%	18	概ね「3」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭と学校・学級との連絡を図るために、学級通信等を定期的に配布している。しかし、中にはプリントなどを家の人見せていないと回答している児童もおり、プリントを再度児童に渡すことをもある。保護者が確実に確認できるように工夫していきたい。 	3 3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 配付物が保護者に届かないと学校運営や児童対応で遅れることになる。連絡用のファイルを用意し、必ずそこに入れるようにすればランドセルの中のファイルを保護者が確認できるだろう。メール配信も必要かもしれない。 ○ プリントは大事なものであることを認識させた上で、個別指導も行いながら確実に保護者に渡してほしい。 ○ 学校での様子を安心して話せる雰囲気があり、それを聞く保護者といい親子関係が築かれていると感じる。 ○ 親子での会話を通じて、トラブルも早く解決ができる。児童の成長を温かい心で見守る基本ができていて喜ばしい。 ○ 今年度は、地域の伝統行事も開催され、子どもたちの元気な姿を見ることができ感動した。子どもたちにとっても様々な経験ができ、大きな力となったと思う。 ○ 地域でも児童の活躍の姿が見られ、交流が深まることが相互の成長、結び付きに繋がると思う。 ○ 学校からの情報発信が十分に行われており、学校での取組が伝わって、興味をもって拝読している。 ○ 学校からの情報発信については手を尽くしていただき、地域としても活動を理解でき、応援できる環境にあると理解している。 ○ 学校だよりやホームページ等で情報発信をよくしていただいている。地域の住人も未来を預けられる子どもたちが、学校でどのようなことを学び、習得しているかがリアルタイムに伝えられている。 ○ 保護者との信頼関係がしっかりと構築されており、すばらしいことだと思う。 ○ 一次的に発生した事で、理解不足や気持ちの行き違いもあるだろう。学校の心のこもった対応が行われ続けていることで、肯定的回答が100%であることは信頼あっての回答だと思う。
	・親子の会話 肯定的回答 児童 92% 保護者 100% 教師 100% 平均 97%	19	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・保護者ともに9割以上が、学校での様子をよく話していると回答している。家庭での会話を通じて学校の様子について親子の意思疎通ができているようである。また、ノーメディアデー等により、親子で話す時間を増やす等に取り組んでほしい。 			
	・地域との交流 肯定的回答 児童 84% 保護者 95% 教師 100%	20	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度は、コロナに係る制限が解除され、柱松や神社大祭、市木浜クリーン大作戦といった行事に参加することができた。また、デイサービス訪問やグランドゴルフなど地域との交流を積極的に行つた。地域の方々からも、子どもたちに声をかけていただく機会が増えたので、引き続き交流を深めながら、地域とともにある学校を目指していきたい。 			
	・学校からの情報発信 肯定的回答 保護者 100%	21	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の100%が学校からの情報発信が十分に行われていると回答をしている。参観日には、学校関係者評価委員の皆様及び、多数の保護者に参観いただいている。学校の情報発信として、毎月の学校だよりを地区の回覧として情報発信したり、メディアに対し取材依頼を行つたりした。 急な連絡を要する場合は、マチコミメールを活用したりし、迅速な情報発信も行っている。今後は地域の方々との交流や情報収集にも力を入れていきたい。 			
	・学校の対応 肯定的回答 保護者 100%	22	概ね「4」の評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての保護者が肯定的な回答をしている。学級担任が児童の様子を正確に把握し、何かあれば学校として組織的に対応してきた結果であると考える。今後も、保護者や地域の方々の意見や要望等に対して、真摯に対応するよう心がけていきたい。 			